

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2024年11月25日

事業所名: 放課後等デイサービス
えるいーすと

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらか いい	いい	工夫した点、改善点	はい	どちらか いい	いい	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	4	0	0	・いーすと内での過ごし方や、共有スペース使用の過ごし方等、工夫して遊び等の提供をしている。 ・移転してからは、現在は共有スペースも活用している為スペースは十分確保されている。	21	1	0	2	・移転する前は、スペースは少し狭いように思っていたが、移転して、共有スペースもあるので、いいと思う。 ・移転して行ったことがない為、わからない。	引き続き、利用人数や活動内容に応じて、レイアウトを変える等して、動きやすいスペースを確保する。長期休暇・祝日・土曜日等においては、外活動も取り入れていく。特性等に応じた環境作りをしていく。
	2 職員の適切な配置	4	0	0	最低人員は確保されているが、送迎もあるので、今後も引き続き検討していく。	18	0	0	6	利用者の人数に対して、職員が何人必要なのか？わからない。	・保護者には契約時等に説明していくようにしていく。 ・勤務体制表を玄関に掲示している。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	4	0	0	・スケジュール等は、個別に写真やカードで視覚化している。 ・玄関先にはスロープや手すりがあり、室内もフラットなので、良いと思う。	20	1	0	3	・一目みてわかるようになっていていると思う。 ・行ったことがない為、わからない。	引き続き、特性に応じた環境作りをしていく。また、保護者の方々に見に来てもらえる機会として、自由参観日等を設けるなど検討していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	4	0	0	朝・夕の掃除を行っている。また、プレイルームとみんなの部屋に、空気清浄機等を設置している。	21	1	0	2		引き続き、朝夕の掃除を行い、こまめに換気や消毒を行っていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	4	0	0	週2回の全体のミーティング等で児童や事業所間の話し合いをし、利用児童の支援に活かしている。						引き続き、職員のミーティング等で振り返り等を行っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施										検討中
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	4	0	0	全体で、年間計画・月間計画を立てて、研修を行っている。また、事業所内での研修も行いスキルアップに繋げている。						引き続き、行っていく。
適切な支援の提供	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか										今年度中に、ホームページに記載していく。
	2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	4	0	0	相談支援事業所・保護者・他事業所・学校の先生方との支援会議・モニタリングをして、課題や共通目標や保護者ニーズを把握確認し、支援計画・書を作成している。また、中間評価も定期的に行い、支援計画に反映させている。	24	0	0	0		引き続き、行っていく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	4	0	0		23	0	0	1		引き続き、行っていく。
	4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	4	0	0	小集団活動は、プレイルームでの感覚統合療育・イベントなど、個別活動では、個別に手作業などの作業的なもの(微細活動)を取り入れ支援を行っている。						引き続き、小集団活動での感覚療育(プレイルーム)やイベントを取り入れ、個別活動での手作業等計画に記載し、児童の具体的な目標を明確にしていく。
適切な支援の提供(続き)	5 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	4	0	0	ミーティングを行い、アセスメント・モニタリング・支援会議・相談などの内容を職員間で共有し支援している。	23	0	0	1		引き続き、保護者とのやりとりや子供の特性に応じた支援をしていく。
	6 チーム全体での活動プログラムの立案	4	0	0	遊びや支援の仕方などを事業所内で話し合いながら立案している。イベント等合同での活動時は、事業所全体で話し合いをしている。						引き続き、行っていく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	4	0	0	プレイルームやみんなの部屋や共有スペースでの遊びを工夫したり、子供たちが楽しく感覚遊びができるようにしている。	21	3	0	0		引き続き、保護者にもわかりやすいように毎日の連絡ノートに記載していく。
	8 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	3	1	0	祝日・土曜日・長期休暇等は、前もってどのような遊びをするかを話し合い、子供たちが意欲的に楽しめるような活動に取り組み、支援につなげている。						事業所にお庭がない為、引き続き、お天気のいい時は半日、外に出かける機会を作って行くなどスケジュールを考えていく。
	9 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	4	0	0	毎日の朝礼にて、役割や支援内容や児童の様子などの確認を行い、共有している。						引き続き、行っていく。
	10 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	4	0	0	終礼等で日誌やケースノートを使用し、その日の振り返りや職員間の情報の共有を行っている。						引き続き、行っていく。
	11 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	4	0	0	個別記録表の記入はタブレットで記録し、最後に個別に細かく記入し、話し合いをし、支援の検証・改善につなげている。						引き続き、行っていく。
	12 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	4	0	0	定期的なモニタリングを実施し、計画の評価や見直しを職員間で行っている。今後も続けていく。						引き続き、行っていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携	1	4	0	0	事業所内において担当者が、評価確認を行い、朝礼等で職員間で話し合い、児童発達支援管理責任者が参加している。						引き続き、行っていく。	
	2	4	0	0	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施						引き続き、行っていく。	
	3	4	0	0	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備						引き続き、行っていく。	
	4	4	0	0	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で支援内容等の十分な情報共有						引き続き、行っていく。	
	5	4	0	0	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供						引き続き、行っていく。	
	6	3	1	0	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進						専門機関での研修等は、スキルアップの為に参加できる時は参加していきたい。	
	7	2	0	2	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	障がいのない子どもと遊べる機会は少ないが、地域の公園や施設の利用をして機会を作っている。	5	2	2	15	児童館などはないようですが、地域交流施設や公園等に行く機会を作ってくれ、少しでも障がいのない子と接する機会を設けてくれると思う。	引き続き、地域の公共施設等を利用して接する機会を設けて、生きずらさを軽減できるよう支援していく。
	8	0	3	1	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	移転して日が浅く、交流ができていないので、放課後等デイサービスを知ってもらうために、今後考えていきたい。						知ってもらう為に事業所周辺のお散歩等をして、地域の人とあいさつ等をかわして、放デイの事を知ってもらう機会を作っていく。
保護者への説明責任・連携支援	1	3	1	0	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	23	1	0	0			引き続き、書面や口頭での説明をしっかりと行っていく。
	2	4	0	0	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	23	1	0	0			引き続き、計画・書を説明して確認を怠らないようにしていく。
	3	4	0	0	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	11	2	1	10	個別に相談にのってもらって対応してくれています。		引き続き、お茶会でのペアレントトレーニングの支援を心がけ、資料の配布等、来れない人にもペアレントトレーニングの支援ができるよう心がけていく。個別の対応もしていく。
	4	4	0	0	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	22	2	0	0			引き続き、行っていく。
	5	4	0	0	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	21	2	0	1	相談あるとき、話をよく聞いてくれて対応してくれています。		引き続き、行っていく。
	6	4	0	0	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	15	3	0	6	参加はできていないが、定期的に開催しているのは知っている。		同じ障がいや病気を抱った保護者の集まりの会を設けるなどして、保護者同士が話しやすい、知りたいことを聞ける場所を提供できるよう検討していく。
	7	4	0	0	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	18	2	0	4	・苦情を伝えたことがない。 ・苦情はなく、苦情は書いたこともないが、玄関に受付箱が置いてあるのを知っていて、説明も聞いている。		苦情ボックスの周知を行う。
	8	4	0	0	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	22	2	0	0			引き続き、保護者とのやりとりや子供の特性に応じた支援をしていく。
	9	3	1	0	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	22	1	0	1			引き続き、行っていく。
	10	4	0	0	個人情報の取扱いに対する十分な対応	22	0	0	2			引き続き、しっかりとした取り扱いを行っていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	4	0	0	玄関先に各マニュアルを配置していて、職員も周知している。必要に応じて保護者に説明を行っている。職員は定期的に研修を行っている。	21	0	1	2	玄関に保護者が見えるように、設置している。	玄関に保護者の方が見えるように、設置している。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	4	0	0	1ヶ月に1回、いろんな災害を想定しての避難訓練を行ったり、防災センターに行ったりしている。 ・保護者への引き渡し訓練も1年に1回行っている。	23	0	0	1	1ヶ月に1回、毎月行ってきていてありがとうございます。	引き続き、行っていく。
	3	服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	4	0	0	服薬やてんかん等については、契約時に、保護者の方にお聞きしたり、その都度、情報共有している。						引き続き、保護者の方々には、薬が変わったり、増量したとき、発作があるときなどは伝えてもらい、事業所内で情報共有を行っていく。
	4	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応				アセスメント時に、確認事項に記載している。 今のところは、利用児童に食物アレルギーのある子供さんがいない。						
	5	安全管理の徹底	4	0	0	毎月の安全点検に加えて、日々の環境整備を徹底し、子供たちが安全に過ごせるようにしている。						引き続き、行っていく。
	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	4	0	0	災害時伝言ダイヤル(171)についてを配布・掲示、引き渡し訓練の実施、安全計画マニュアルを玄関先に設置と必要に応じて保護者にも説明を行っている。						引き続き、行っていく。
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	3	1	0	事例を作成し、事業所内や事業所全体(3ヶ所)間で、対策を話し合っている。						引き続き、定期的に行っていく。
	8	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	4	0	0	職員研修や虐待防止委員会を定期的に行っている。また、講師の方を呼び講演して頂いている。						引き続き、行っていく。
	9	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	4	0	0	車いす・バギー(腰ベルト有)・ヘッドギアを使用する利用者には、契約時に説明をし、保護者さんの同意を頂いている。支援計画書にも記載し、カンファレンスをし、活動プログラムまたは記録に記載している。						引き続き、車いす・バギー(腰ベルト有)・ヘッドギアを使用する時は、本人の体調等も見つつ、安全な時は腰ベルトを外したり、ヘッドギアをのける時間をつくっていく。